

愛知県支部学術講演会並びに総会開催される

愛知県支部では、去る2月10日（土）に、麻布大学から柏崎直巳先生をお迎えし会員19名の参加を得て、平成18年度県支部学術講演会並びに通常総会が開催されました。

総会に先立ち開催された学術講演会は、ここ数年総会への会員出席者数の低迷に歯止めをかける策として企画されたものです。学術講演会は、当初、江口祐輔先生をお迎えして行う予定でしたが、あいにく江口先生の体調が悪く、急きょ柏崎先生に変更となりました。急な変更のため十分な準備ができなかったにもかかわらず、柏崎先生は約1時間半にわたり長年先生がご研究された内容について分かりやすくご講演されました。講演内容は、受精能力のない精子と体外成熟卵子を用いた顕微受精によって、世界で初めての豚の妊娠・出産に成功したまでの経緯や顕微受精（マイクロマニピュレーターを用いた細胞質内精子注入法）の様子、さらに実験動物としての有用なラットの精子の凍結保存方法について説明されました。これらの技術は、受精能力に劣る希少動物や希少品種の精子利用に有用な技術になるものと期待されました。また、講演の合間に、最近の麻布大学や大学周辺の状況をスライドでご紹介して頂き、出席した会員の誰もが青春時代を懐かしく思い出されたことでしょう。

学術講演会に続き行われた通常総会では、事務局から平成19年度計画（支部会報の作成等）、公衆衛生部会と畜産部会の統合、支部長改選を上程し、全て可決承認されました。

ここ数年県支部総会への参加者数は低迷しており、今回も残念ながら参加者数は19名とほぼ例年とおりの寂しい状況でした。平成19年度は、支部会報の発行等新たな取り組みの中で、会員同士の親睦を深め、支部同窓会の活性化に向けて一層の努力をしていく所存です。

（美濃口直和、平成2年卒）